

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

地域連携 都民協働によるクリーンアップ活動

■都民協働による多様な主体との連携

パークコーディネーターが企業・団体・地域団体との調整役を担い、企業・団体による清掃活動41件、地域団体と連携した清掃イベント16件を実施。延べ2,297名が環境保全活動に参加し、都民協働による公園管理を推進した。

■来園者参加型の環境保全を推進

セルフ式海岸クリーンアップには284名が参加し、来園者が気軽に環境保全活動へ参加できる機会を創出した。多様な主体との協働により、地域全体で環境保全に取り組む体制づくりを推進した。

コーディネーターが柔軟に対応！



セルフ式海岸クリーンアップ



企業による清掃活動



団体による清掃活動

生物保全 希少な生きものあふれる環境づくり

■動植物のモニタリングと希少種保全を実施

動植物のモニタリング調査を行い、希少種保全のための利用調整や生息環境の保全を推進。東なぎさではウラギクの生育地保全や域外保全（苗の育成）に取り組んだ。



ウラギクの苗の育成

■希少鳥類の保全

鳥類の営巣地保全のため保護区を設置し、立ち入り制限やシェルター設置を実施。保護区内でシロチドリ5巣、ヒバリ1巣の営巣を確認し、希少鳥類の繁殖・保全を推進した。



シロチドリと卵

■大学と連携した調査・研究を推進

信州大学・東京都市大学と連携してシロチドリの追跡を実施。研究成果は日本鳥学会で発表し、都市域における希少鳥類保全の取組を全国へ発信した。

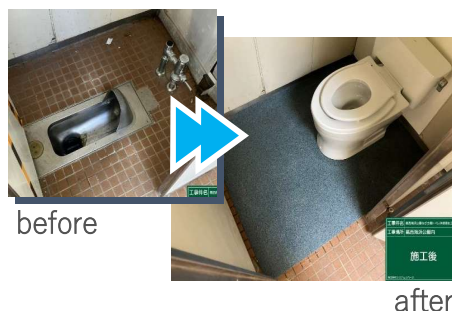
施設管理 施設長寿化への取り組み

■利用者目線のトイレ環境整備

園内すべてのトイレを洋式化し、外国人来園者や高齢者、子どもなど、誰もが利用しやすい環境を整備した。

■トイレの清掃頻度を強化

衛生器具・床清掃を事業計画の2倍となる週4回以上実施し、繁忙期には高圧洗浄機による床清掃も実施。利用者が安心・快適に利用できる環境を維持した。



before

after

○ 安全性の確保

安全 海上保安庁と連携した水域安全対策

■海上保安庁と連携し、無許可船舶への指導・巡回や航行ルールの周知を実施するとともに、救助訓練やAED講習を行い、スタッフの水域安全に関する知識・技術の向上と、水難事故への対応力強化を図った。



海上保安庁による巡回・救助訓練の様子

2 事業効果

○ 事業の取組

環境学習 ▶ かさいキッズレンジャープログラム

■ かさいキッズレンジャー

パークレンジャーのお仕事体験イベントとして開催し、年間10回・参加者140名。生物調査、シロチドリの営巣地整備などを通じて、生きものや干潟の役割を体験的に学ぶ機会を提供した。

■ かさいユースレンジャー

キッズよりも高学年を対象に、専門的な生物調査や保全活動を実施。パークレンジャーの指導のもと、本格的な調査手法を学び、市民参加型調査によるデータ収集と将来の環境保全を担う人材育成につなげた。

パークレンジャーの お仕事体験！



イベントの様子

普及啓発 ▶ 野鳥観察DAY

■ ラムサール条約登録7周年イベントの開催

干潟の生きもの観察、野鳥観察、パークレンジャーによる解説ブースなど、ラムサール条約登録湿地ならではの自然を活かした体験型プログラムを実施。マハゼなど干潟の生きものや、スズガモ・カンムリカイツブリなどの冬鳥を観察し、200名以上が参加。来園者が湿地の生態系を体験的に学ぶ機会を創出するとともに、ラムサール条約登録湿地としての価値や葛西海浜公園の魅力を広く発信した。



利用促進 ▶ 2年ぶりにTokyo Bay Flight Partyを開催

■ スポーツカイトのデモフライトや体験プログラムを実施。来園者4,926人を記録し、ぐにゃんづくりには65名が参加するなど、イベントを通じて公園の魅力発信と集客につなげた。



学術発信 ▶ 日本鳥学会で研究成果を発表

■ クロツラヘラサギ調査におけるドローンの有効性を日本鳥学会で発表し、都市域における希少鳥類保全の取組を全国へ発信した。



パークレンジャーによる発表

○ 利用の状況

令和7年度の来園者数：586,714人

○ 行政目的の達成

国際交流・視察対応 ▶ 英国エドワード王子が葛西海浜公園を視察

■ ラムサール条約登録湿地の保全活動を紹介

パークレンジャーがラムサール条約登録湿地における保全活動や環境学習、市民参加の取組を紹介。干潟の野鳥や希少種の観察を通じて、都市部における湿地保全のモデル事例として、葛西海浜公園の価値を国内外へ発信した。



視察対応の様子

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		161,465
内 訳	指 定 管 理 料	161,465
	利 用 料 金	0
支 出 計		164,346
収 支 差		-2,881

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。